

# 「若手ワールドカフェ」報告

## Report on Discussion with the Participation of Young JGS Members

### 男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会

#### 1. はじめに

ダイバーシティ委員会では2011年に、ベテラン座談会を開催し、第二弾として今回は若手にスポットをあてた企画を行った。2013年1月23日、「若手ワールドカフェ」と題した交流会を地盤工学会（文京区）で開催し、学会の魅力を高めるための方策について討論した。若手会員、非会員含め、20名の方に参加いただき、末岡地盤工学会会長、岸田専務理事、桑野委員長はじめ委員会メンバー8名も参加して、計30名という大所帯で活発な討議を行うことができた。「ワールドカフェ」とは、3～4名のグループ間でお茶、お菓子を楽しみながら情報を共有し、20分程度でメンバー交代を繰り返しながら、徐々に全体で情報を共有する会議形式である。

その後の懇親会もほぼ全員に参加いただいて、さらに交流の輪を広げることができた。



写真-1 ワールドカフェの様子

#### 2. 参加後のアンケート結果

アンケート（母数21名）には参加いただいた全ての方に答えていただき、全ての方から（！）参加して楽しかったとの感想であった。イベントの時間が短いとの意見も数名からいただいた。魅力向上策については後述するが、今後どんなイベントに参加したいかとの問いには、若手セミナー、勉強会(14/21)、若手交流会(13/21)が多く、若手合宿は少数派(3/21)であった。

学会の委員会活動について、活動中の方が半数、そのうち半数以上が参加していて楽しいとの意見であった。

また、委員会活動をしていない方のうち、技術系委員

会に興味ある方が半数、運営系委員会に興味ある方は1名のみであった。委員会活動を知らない方も4名いらっしゃった。

#### 3. 学会の魅力向上策について

各グループの代表者に主な意見を総括、発表していただいた。若手、特に非会員の意見も入っており、実現性のあるもの、すでに実施しているもの、実現には検討すべきものなど様々な意見があるが、若手の生の意見として、紹介する。

- ・委員会は偉い先生しかいないなど、学会の敷居が高い(と感じる)。若手が活躍できる場所がほしい。
- ・地盤工学会が何をやっているのか、誰が何をやっているのかわからない(知らない)。
- ・繋がりを作るのが学会の魅力。入り口としてのネットワーク作りの機会を設け、入りやすい環境を作る。気軽に参加できる機会は良い。
- ・フェイスブックなどを活用し、ライトな感覚(今回のキーワード)で参加でき、自由に発言できる場を作る。
- ・若手を集めた研究発表会的な会を作る。学生が社会人になる時点で学会をやめないように、学生と若手会員の交流の場を作る。若手の交流の場、横の繋がりの場があれば学会に入りやすい。また、別の分野の人との繋がりの場もあればよい。
- ・年次大会における学生会員だけのセッションを開催する。例えば、各大学の研究室紹介(主な研究内容も含めて)や、学会又は土木の魅力向上案について話し合ってもらおう。
- ・学生会員と正会員の交流として、大学の先生方に、是非学生にも全国大会での懇親会へ参加してもらおうように呼びかけてもらう。
- ・若手、学生、一般(住民)などに向けた基礎的な講習会を開催する。
- ・仕事上ではなく、地域の地盤に関する発表会など、コミュニティとしての価値のあるイベントを企画する。
- ・短期集中の勉強会ができればよい。
- ・他大学(自分の出身校以外)の先生の授業が聞けたらいい。
- ・ネットワークを広げ、ネット上のオンデマンド講

習会を開く。地盤工学会に質問するとその答えが返ってくる、あるいは閲覧できるようなシステムを作る。

- ・得られる情報があっての会費なので、正会員にならなくてもいいように会員のスタイルを分ける。
- ・ライト会員（学会誌なし）など、会員の種類を選べるようにする。
- ・委員会などで汗をかく人（実務者）は、会費減免措置を行う。
- ・仕事に役立つことがなければ入会しないので、役立つ企画を実施する。正会員の会費収入に頼らない仕組みに移行する必要があるのではないか。
- ・年会費に論文投稿料を入れてしまう。

#### 4. 今後に向けて

若手ワールドカフェでは、参加してくださる方の人選、人集めにかかなりの労力を費やした。しかし、委員の知り合いに参加いただくという集客方法が功を奏し、特に西岡委員の強力な集客力もあり、地盤工学会の若手会員、非会員含め、20名の方に参加いただくことができた。

一方で、大学の先生は卒論等の忙しい時期にあたり、参加をいただけなかったのは残念であり、開催時期の設定に課題を残した。

公募してもほとんど参加希望者は集まらなかったが、委員会メンバーの知人に声をかけることで、ある程度の人数の方に来ていただけた。地盤工学会との繋がりが薄い参加者の多くは「地盤工学会が何をやっているか良く知らない」けれど「人的ネットワークが重要」と感じていた。これは、敷居が高くなっている（と感じられている）学会の今後のイベントを考える上で、今回のメンバーの集め方が一つのヒントとなるであろう。アンケートで若手セミナー、勉強会、交流会等への参加に△をつけた方から、「参加したいかと考えるとなやんでしまう。知人がいない状況で、交流会等の参加は少なからず強制力がないと、厳しいかもしれません」との意見をいただいたのも、同様の問題をはらんでいると思われる。知人からの働きかけは、交流の輪、ひいては学会の活動を広げるうえでの動機づけになることを感じる機会であった。（なお、今回の参加をきっかけにして、学生の頃に学会に入会していた方が、実に10年以上振りに再入会をしていただけた！）

ダイバーシティ委員会では、サロン土カフェ W と題して、年次大会ごとに交流の機会を設けているが、若手にも声をかけて、地道ながら交流の輪を広げていきたいと考えている。

最後にお忙しいところ、今回の企画に参加いただいた皆様に感謝申し上げます。

浅田素之（清水建設㈱）



写真-2 参加者の集合写真

表-1 今回の参加者（敬称略）

池本 宏文	JR 東日本
石井 裕泰	大成建設
伊藤 和也	労安研
加藤 篤史	新日鐵住金
金田 一広	竹中工務店
鎌田 敏幸	ケミカルグラウト
川口 大輔	佐藤工業
日下 寛彦	高速道路総合技術研究所
小林 真貴子	大成建設
四宮 みゆき	竹中土木
高橋 英紀	港湾研
中村 治人	ジオ・サーチ
西村 昌宏	復建エンジニアリング
藤崎 雅史	基礎地盤コンサルタンツ
光森 章	大林組
森野 達也	鉄道運輸機構
保高 徹生	産業技術総合研究所
山下 理代	ダイヤコンサルタント
山田 岳峰	鹿島建設

参加者(敬称略)

池本 宏文	JR 東日本
石井 裕泰	大成建設
伊藤 和也	労安研
山下 理代	ダイヤコンサルタント
加藤 篤史	新日鐵住金
金田 一広	竹中工務店
鎌田 敏幸	ケミカルグラウト
川口 大輔	佐藤工業
日下 寛彦	高速道路総合技術研究所
小林 真貴子	大成建設
四宮 みゆき	竹中土木
高橋 英紀	港湾研
西村 昌宏	復建エンジニアリング
藤崎 雅史	基礎地盤コンサルタンツ
光森 章	大林組
森野 達也	鉄道運輸機構
保高 徹生	産業技術総合研究所
山田 岳峰	鹿島建設
中村 治人	ジオサーチ
岸田 隆夫	地盤工学会 専務理事

ダイバーシティ 委員会	所属
末岡 徹	地盤工学会 会長
桑野 玲子	東京大学生産技術研究所
浅田 素之	清水建設
亀村 勝美	深田地質研究所
工藤 里絵	日本建設情報総合センター
杉本 映湖	ダイヤコンサルタント
西岡 英俊	鉄道総合技術研究所
野崎 模代子	基礎地盤コンサルタンツ
山口 恵美	関東学院大学大学院